

別 紙

第61回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第 1 分科会	演題番号	127
題 名	外国生まれ肺結核患者の背景因子と感染性の関連についての分析		
所 属	西部健康福祉センター		
氏 名	○石田希世、地域医療課一同 浜松医科大学 健康社会医学講座 高杉友		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>西部保健所管内では外国生まれの肺結核患者が多く、特に30歳未満の若年層や技能実習生が多い。本研究では、2019年から2023年の外国生まれの肺結核患者54人を調査し、菌所見と背景因子の関連を分析した。</p> <p>結果、健診で発見された患者は喀痰塗抹陽性の割合が低く、早期例を発見するのに有効性を示した。ただし、定期健診の有無と菌所見には直接的な関連は示されず、健診を受けていること自体が早期発見を保証するものではないことが考えられた。さらに、有症状患者は喀痰塗抹陽性の割合が高いことから、早期受診への対策の重要性が示された。そこで、受診の遅れに関連する背景因子を分析した。結果、定期健診や相談体制の整備が早期発見や受診行動の促進に寄与しており、加えて年齢や入国年数など詳細な背景を考慮した対策の必要性が示唆された。</p>		